

平成 24 年 7 月 13 日

遊佐町長 時田 博機 殿

遊佐町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 鈴木 たみ子

副主任監査員 遠藤 はる奈

## 独自目標監査報告書

LAS-E 独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査日時

平成 24 年 7 月 13 日(金) 15 : 00～16 : 30

### 2. 監査対象

遊佐町役場

### 3. LAS-E 監査内容

LAS-E 独自目標の平成 23 年度実績

- 第 1 ステージ No.12 (エコアクション)
- No.23 (エコマネジメント)
- No.30 (エコガバナンス)

#### 4. 監査結果

部 門	平成 23 年度 独自目標	達成 状 況	部 門 評 価	
エコアク ション 部門	1 本庁における電気使用量 前年度比 1%以上削減	○	△	
	2 本庁におけるガス使用量 前年度比 1%以上削減	×		
	3 本庁における灯油使用量 前年度比 1%以上削減	○		
	4 本庁における公用車燃費 前年度より向上	ガソリン車		○
		ディーゼル車		×
	5 可燃ごみ排出量 前年度比 2%以上削減	×		
	6 本庁舎における事務用紙使用量 前年度比 1%以上削減	○		
7 本庁舎の事務事業から排出される二酸化炭素排出量 前年度比 1%以上削減	○			
エコマネ ジメント 部門	8 環境に関する研修（部署別研修を含む） 年 2 回以上	○	○	
エコガバ ナンス 部門	9 環境に関する情報提供 広報・HP で年 12 回以上	○	○	

※ 達成状況：○＝達成、×＝未達成

※ 評価：○＝良好、△＝軽微だが改善すべき点あり、×＝勧告に値すべき点あり

## 5. 所見

平成 23 年度の独自目標について監査した結果、エコアクション部門は△、エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門は○と評価しました。

エコアクションの視点に基づく目標のうち、ガス使用量、ディーゼル車燃費、可燃ごみ排出量で目標を達成できませんでした。いずれも未達成部分は大きくありませんが、目標達成に向けて努力する姿勢をさらに強めていただきたいとの思いで△の評価としました。このうち可燃ごみ排出量については、22 年度から 23 年度初頭にかけて計量漏れの可能性があるとのことでした。マネジメントにおける PDCA サイクルは、データをきちんと取るということが基本になります。各課にデータ収集を依頼する項目については、今一度、計測手法や時期などを確認し、徹底を図るようにして下さい。

電気使用量は昨年度比 25.4%減と大幅な削減となりました。昨年は 22 年度比で 15%という節電目標が出され、主に夏季ピーク時の電気使用量を削減することに力を入れた取り組みが展開されました。エアコンフィルターを各課が清掃するようしたり、エアコンの使用基準を設定したりするなど徹底した取り組みの成果により、夏季の電力使用量は最大 45%も削減されました。冬季も例年以上に冷え込みが厳しい年でしたが、節約意識が強く根付いたことで暖房使用にもタイマー設定などの工夫が見られ、灯油使用量は昨年度比 13%の削減となりました。

電気や灯油で大幅な削減を達成したものの、二酸化炭素排出量で見ると削減率は 2.5%に留まりました。これは軽油使用量の増加によるもので、特に町営バスの燃費悪化が影響しています。バスの委託先にもエコドライブへの協力要請はされていますが、乗客数や道路環境によって燃料消費が増えてしまうことも考えられます。役場の管理が及ばない部分を目標に含んだままだと、努力の結果が見えづらくなり、意欲の低下に繋がるのが懸念されます。外部施設や委託の部分は目標値を別立てにするなど、より管理しやすく成果の見えやすい目標の立て方を検討されてはいかがでしょうか。

エコマネジメントの視点に基づく目標については、全体研修と監査員研修会が予定通り実施され、部署別研修も職員会議などの機会を捉えて定期的に開催されています。全体研修には 9 割近くの職員が参加し、研修資料も職場内で共有するなど、積極性が見られます。町民対象の研修会や見学会にも職員の参加を呼びかけており、遊佐町の資源を活かして学習機会を増やそうするよい試みだと思います。

2 月に実施した監査では、職場研修の内容は部署・施設によって濃淡があり、実行責任者の姿勢がそれに反映していることが見受けられました。実行責任者が積極的な職場では、職場研修や引継ぎがしっかりなされており、職員の意識も高いようです。実行責任者の方々は、推進員の方と協力して職場単位での取り組みをより充実したものに盛り上げていくことを改めて自らの役割として捉えていただきたいと思います。

エコガバナンスの視点に基づく目標としては、12 回以上の情報提供を掲げていましたが、広報における環境関連情報は環境係が扱ったものだけでも 30 回と、かなりの回数に上ります。しかし、多くの住民にとって LAS-E は馴染みがなく、節電以外にも様々な環境の取り組みを行っていることはまだまだ知られていません。目標の達成結果や、職場ごとに行なっているユニークな取り組みなど、LAS-E 関連の情報もより積極的に広報に掲載して下さい。

昨年はこれまで以上に厳しく取り組んだ年でしたが、それで身につけた習慣や仕組みを継続し、無理のないように取り組みを継続していただきたいと思います。対象施設が広がることで、住民の目に触れる機会も増えます。LAS-E の取り組みがより住民を巻き込んだものとなることを期待します。